

こども新聞
週刊

がほピョンぷりす

毎週日曜発行
2026 8/30

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ



はやさがアドバイザーの

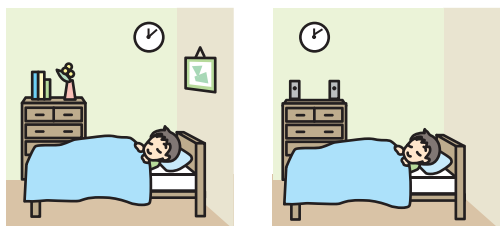
わくわく

防災クイズ

◆優先行動3

ぼうさい げんさい とうし
防災・減災に投資すること

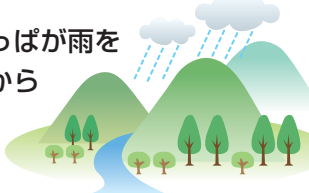
問1 左右の部屋には地震に備えた三つの違いがあります。どこでしょう？



問2 森林は土砂災害を減らす役割を果たしていますが、正しい理由はどちらでしょう？

A.木の根が土を支えているから

B.木の幹や葉っぱが雨を受け止めるから



◆優先行動4

災害に備え、より良い復興につなげること

問3 地震から身を守るシェイクアウト訓練で□に入る言葉は何でしょう？



まず低く

頭を守り

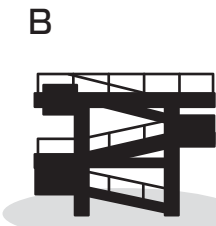


問4 津波避難タワーはどちらでしょう？

A



B



せん だい ぼう さい わく ぐみ 仙台防災枠組

2015年3月に仙台市であった第3回国連防災世界会議で採択されました。災害による死亡率や被災者の数、経済的な損失などに関し、2030年までの15年間で達成すべき目標を定めました。

目標を達成するための
「四つの優先行動」が
こちら

- ①災害リスクを理解すること
- ②災害リスクを管理すること
- ③防災・減災に投資すること
- ④災害に備え、より良い復興につなげること

投資・備え 共に考え行動を

国連の防災指針「仙台防災枠組」をテーマにした「わくわく防災クイズ」。今回は四つある優先行動のうち③防災・減災に投資すること④災害に備え、より良い復興につなげることにちなんだクイズを出題します。

③の「投資」とは、自分や家族にどんな被害が出るかを考え、お金や時間をかけて備えることです。備えれば備えるほど、被害を小さくすることが期待できます。

④は過去の災害から学び、より安全な地域をつくることを意味しています。東日本大震災の後、仙台市も津波から地域を守るために海岸堤防や津波避難タワーを整備し、生活の拠点を内陸に移す対策を取りました。

こうした取り組みの積み重ねが地域の立ち直る力(英語で「レジリエンス」)を高め、災害に強いまちづくりにつながります。

皆さん一人一人も防災に関わる大切な当事者(英語で「ステークホルダー」)です。私たちが優先して取り組むべき災害への備えについて、共に考え、行動していきましょう。

―(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)―

6面に答えと解説

津波避難タワーを見学 来月19日・仙台

仙台市と河北新報社は9月19日、宮城野区の「中野5丁目津波避難タワー」を見学する防災イベントを開きます。早坂さんが講師を務め、津波災害を体感できる仮想現実(VR)ゴーグルやロープを使ったワークショップも行います。午前10時～11時半。対象は小中学生の子どもと保護者。定員は先着順10組程度。参加無料。9月13日締め切り。駐車場あり。QRコードから申し込みます。連絡先は河北新報社教育・防災連携室022(211)1591。



わくわくの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 防災クイズ ワンポイントレッスン
- 7面 投稿特集
- 8面 早坂さんが見た熊本地震被災地